

## 「運命の仕事に出会うために」

挑戦問題 「仕事の魅力を伝えるプレゼンに挑戦しよう」

## 本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働 感謝・貢献

1 対象 第2学年A組 男子5名 女子12名 計17名

## 2 単元で目指す学ぶ姿

様々な仕事の魅力を情報収集し、プレゼンで伝えあう活動を通して、起業家や、社会で活躍する先人の生き方や考え方を知る中で社会において仕事の存在意義を探究し、職業的視野を広げ、職業的自立へ向けて模索する姿

＜単元で生徒と共有する学びの姿を見取る資質・能力のルーブリック＞

| 資質・能力                                    | 評価      | 評価基準                           |   |
|--|---------|--------------------------------|---|
| 生き方や故里に関する知識・技能                          | S       | 運命の本から学んだ仕事につきたいと人に思わせることができる。 |   |
|  | A       | 運命の本から学んだ仕事の良さを人に伝えることができる。    |   |
|  | B       | 運命の本から学んだ仕事のことを人に伝えることができる。    |   |
|  | C       | 運命の本から学んだ仕事のことを人に伝えることができない。   |   |
| 総合的な問題解決の能力・<br>実社会における横断的・総合的な問題解決の能力   | 情報収集・判断 | S                              | 取組を通して仕事に対する自分の見方や考え方を広げ深めることができる。                        |
|  |         | A                              | 仕事の魅力に関わる情報を本やプレゼンから見付け、選び出すことができる。                       |
|  |         | B                              | 仕事の魅力に関わる情報を本やプレゼンから見付けることができる。                           |
|  |         | C                              | 仕事の魅力について本から読み取ることができない。                                  |
|  | 思考・表現   | S                              | プレゼンの3要素（パワーポイント、スピーチ原稿、話し方）すべてにおいて魅力を感じるプレゼンを行うことができる。   |
|  |         | A                              | プレゼンの3要素（パワーポイント、スピーチ原稿、話し方）の中で2つの要素に魅力を感じるプレゼンを行うことができる。 |
|  |         | B                              | プレゼンの3要素（パワーポイント、スピーチ原稿、話し方）の中で1つの要素に魅力を感じるプレゼンを行うことができる。 |
|  |         | C                              | プレゼンの中に相手に伝えるための魅力がない。                                    |
| 実社会における横断的・総合的な問題解決に取組む態度<br>学びに向かう力・人間性 | 挑戦・探究   | S                              | 自分だけでなく相手にも満足してもらえるプレゼンになるまで練り直すことができる。                   |
|  |         | A                              | 自分が納得いくまでプレゼンを何度も練り直すことができる。                              |
|  |         | B                              | プレゼンを何度も練り直すことができる。                                       |
|  |         | C                              | プレゼンを練り直したりすることができない。                                     |
|  | 責任・使命   | S                              | 将来、仕事を通して社会人として役に立ちたいと思うことができる。                           |
|  |         | A                              | 社会人としての責任や使命を考え、将来、何かの仕事をしよと思うことができる。                     |
|  |         | B                              | 社会人としての責任を理解し、将来、仕事はしないといけないと思うことができる。                    |
|  | 協力・協働   | S                              | 意見交流を通してお互いの発表を改善することで学びを深めることができる。                       |
|  |         | A                              | 意見交流を通して、お互いの発表を改善することができる。                               |
|  |         | B                              | お互いの発表をよりよくするために意見を言うことができる。                              |
|  | 感謝・貢献   | S                              | 学校生活でのいろいろな仕事を通して感謝・貢献を重ねることで、絆を深めることができる。                |
|  |         | A                              | 仕事をする人に感謝の気持ちを持ち、学校生活のいろいろな仕事を通して、自分なりに貢献することができる。        |
|  |         | B                              | 仕事をする人に感謝の気持ちを持ち、学校生活のいろいろな仕事の中で、自分なりに貢献しようと努力することができる。   |
|  |         | C                              | 仕事をする人に感謝の気持ちを持っていない。                                     |

## 【評価方法】

生徒には、上記の資質・能力のルーブリックを適時示し、意欲を喚起させ、単元の最後の自己評価に教師の評価を加える。（授業観察、ワークシート）

### 3 単元設定の理由

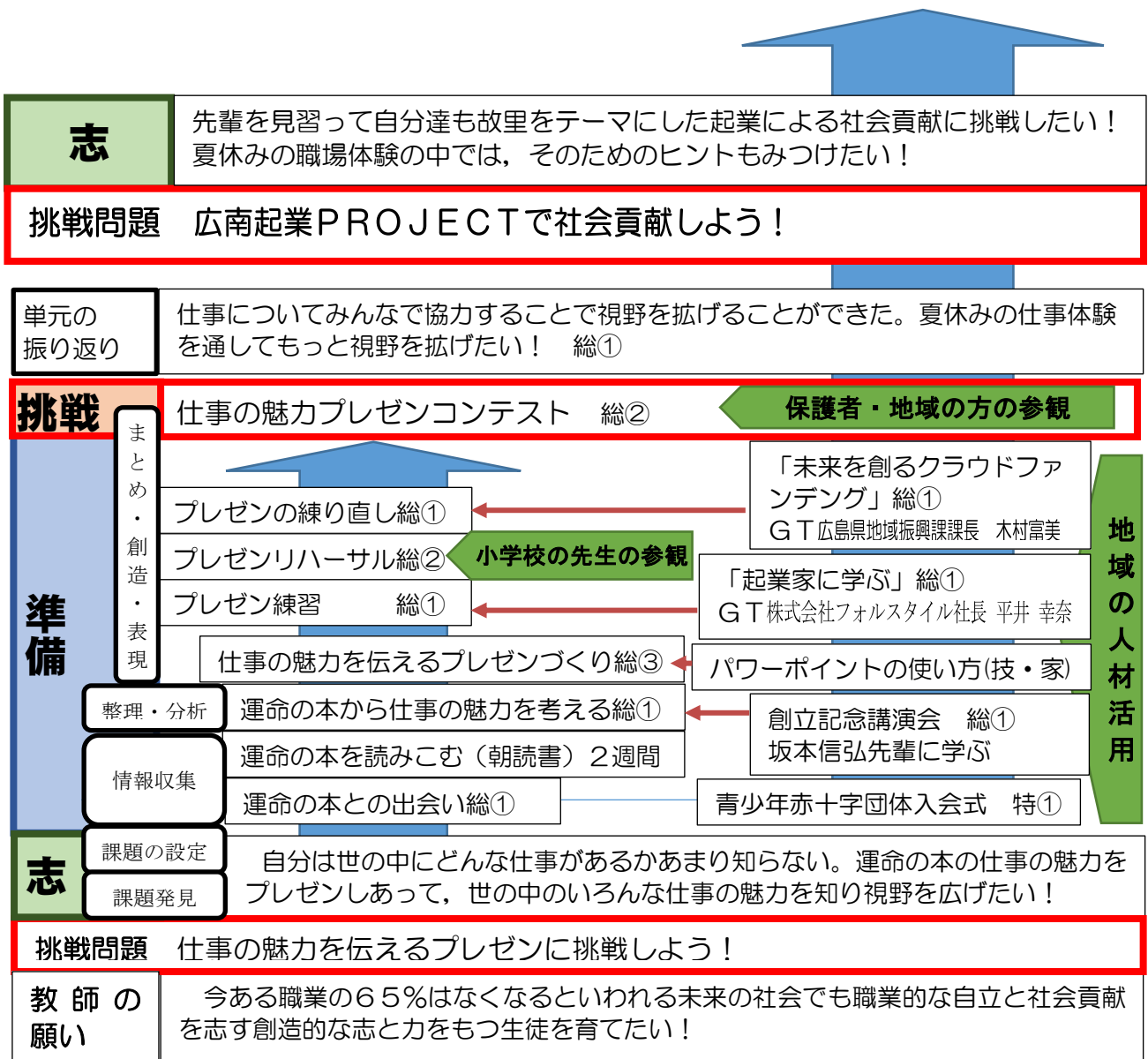
本校の「生き方学習」においては、「広く深く視野を拓き、不を覆す高い志を胸に」を目標に発達段階に応じた単元構成を行っている。第2学年では、「職業的な自立へむけて、志を抱く」ことを目標に、まずは、この単元で、世の中にある多様な仕事の価値に気付き、起業を含めて、職業的な観点で人生を広く深く考える機会を与えることを目標に、この単元を設定している。

生徒たちは、仕事について多くを知らないし、知っていても自分の興味のある範囲の仕事や単なる憧れで留まっている場合が少なくない。本単元では、まず「運命の本」として、あえて生徒の興味の対象外の本とも向き合わせ、その本の中の人物の生き方を仕事という視点で深く読み取らせる。このことは、単に、視野を広げることに役立つばかりでなく、さまざまな仕事に就いた社会人がどのような人生を送ってきたのかを、書籍を通して追体験し、自分の仕事観や人生観と比較させることで、働くことの意義やこれから自分たちが地域へ貢献する姿を見通す上での深い学びも期待される。

また、第1学年でのビブリオトーク及び落語への挑戦で身に付けた表現力を生かしながらパワーポイントを活用したプレゼンという手法での表現活動で交流させることで、表現力のさらなる向上を図るとともに、それぞれの仕事の魅力について、より思考を深めあうことが期待される。

また、この学習をきっかけに、生徒が日常生活においても将来の仕事について関心を持ち、職業の視野を拓けようとする意図的な読書などを通して、主体的に情報収集したり、家族や友人同士で語り合ったりすることで夏季休業中の「職場体験学習」や2学期の「起業企画 PROJECT」への主体的な学びにつながることを期待される。

### 4 本単元の構想図（貫きカリキュラム）



5 本単元の指導計画（全12時間）

| 時数       | 学習活動   | ・指導上の留意点 ★評価規準（○は「指導に生かすための評価、●は「記録するための評価）」（評価方法）   |
|----------|--|--|
| 1        | <p><b>課題の設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の知っている仕事の数や内容を出し合うことで自分たちの無知さに気付く。</li> <li>運命の本（無作為に選ばれた本）を通して未知の仕事の魅力を探究し、プレゼンコンテストを通して交流しあうことで仕事に対する視野を広げることで問題解決を図ることができることに見通しを持つ。</li> </ul> <p><b>挑戦問題</b> 仕事の魅力を伝えるプレゼンに挑戦しよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運命の本に選ばれる。</li> <li>運命の本に出会っての思いを書く。</li> </ul> | <p>★【挑戦・探究】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○運命の本との出会いを前向きに受け止めることができる。（授業観察・ワークシート）</li> <li>・資質・能力ルーブリックを通して単元で育つ心の力と鍛える力の資質・能力にも見通しを持たせる。</li> </ul>   |
| 朝読書・家庭読書 | <p><b>情報収集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運命の本を読みこみ、仕事の魅力の手がかりを得る。（朝読書・家庭読書）</li> </ul>  | <p>★【情報収集・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○付箋をしたり、メモをしながら本を読んだりすることができる。（授業観察）</li> <li>・本に前向きに取り組む様子がない生徒へは、本の交換の機会を個人的に与える。</li> </ul>  |
| 1        | <p><b>整理・分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「仕事の魅力はなんだろう？」それぞれが本を読んで考えた仕事の魅力について考えをまとめ、話し合う。</li> </ul>   | <p>★【思考・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○仕事の魅力について自分なりに発見したことが表現できる。（発表・ワークシート）</li> </ul>  |
| 6        | <p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の運命の本の中で見付けた仕事の魅力を伝えるスピーチ原稿をメモや付箋を手がかりに書く。</li> <li>スピーチ原稿をもとに必要なプレゼンシートを考える。</li> <li>パワーポイントを使ってプレゼンを作成する。</li> <li>グループで何度も練習し、リハーサルに備える。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・その仕事の魅力を伝える上で足りない情報等があれば、インターネットや別の本を読むことも大切であることを伝える。</li> <li>・単元の「思考・表現」ルーブリックを示し、よりよいプレゼンの3つのポイントを意識させる。</li> <li>・単元の「協力・協働」「情報収集・判断」ルーブリックを示し、教師や友達からアドバイスを受け具体的な改善のポイントを見付けさせる。</li> <li>・単元の「挑戦・探究」ルーブリックで、粘り強く練り上げることの大切さを意識させる。</li> </ul> |
| 2        | <p><b>仕事の魅力プレゼンコンテストリハーサル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の先生を招いてリハーサルを行う。</li> <li>リハーサルで得たアドバイスを受け、最後の練り直しや練習を行う。</li> </ul>   | <p>★【情報収集・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○みんなの発表を聞いて、真似をしたい点やアドバイスを見付けることができる。</li> </ul>  |
| 1        | <p><b>仕事の魅力プレゼンコンテスト</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の前で発表し合い、参加者の講評を得る。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●プレゼンの3要素（パワーポイント、スピーチ原稿、話し方）の中で2つの要素に魅力を感じるプレゼンを行うことができる。（自己評価・相互評価・教師の評価）</li> </ul>  |
| 1        | <p><b>振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元末の振り返りをルーブリックと自由記述で行う。</li> </ul>  | <p>★単元ルーブリック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教師の評価はワークシートと発表をもとに学年団で行い、肯定的なコメントもつける。</li> <li>・今後の「職場体験」及び「起業企画」に向けて見通しを持つことや、今後も、いろいろな本を読んで職業観を広げ深めていく大切さを伝える。</li> </ul>   |

6 本時の学習（8時間目／全12時間）

(1) 本時の目標 「仕事の魅力プレゼンコンテスト」に向けてリハーサルを行い、本番に向けて最後の練り直しのための情報収集を行う。

(2) 学習の流れ

| 学習活動   | 指導上の留意点（・）<br>配慮を要する生徒への支援（◆）  | ★資質・能力<br>（評価方法）  |
|--|--|---|
| 1 課題意識を持つ。   |  |   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>挑戦問題</b> 仕事の魅力を伝えるプレゼンに挑戦しよう！                 </div>  |  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業家などのGTからどんなことを学んだかの発表を通してプレゼンの大切さを再確認する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業家のGTの話を出させ、クラウドファンディングでもプレゼンが大切だと言っておられたことを思い出させる。その能力を身に付けるためにパワーポイントでやっていることを確認する。</li> <li>・落語で身に付けた豊かな表現力を活用することも意識させる。</li> </ul>   |   |
| 2 本時のめあてを確認する。   |  |   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     めあて 「自分のプレゼンを改善するポイントを見つける」                 </div>                                   |  |   |
| <p>3 リハーサルを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リハーサルの目的を確認する。</li> <li>・本番と同じ状況で発表する。（3分）</li> <li>・発表後の振り返りを行う。（2分）</li> <li>※ 発表者への改善点・良かった点、自分の発表へいかそうと思う点</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表約3分。その後、発表者へ改善点・良かった点を付箋へ、また自分の発表にいかそうと思う点をワークシートへ書く時間を約2分とる。（5分×6人）</li> <li>※付箋は教師が集め、発表者に渡す。最後の振り返りの時の参考にする。</li> <li>・本時の情報収集・判断ルーブリックを示し、プレゼンの改善点を考えさせることを意識させる。改善点の伝え方の例を挙げて、より具体的なことを助言するよう確認する。</li> </ul> <div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>発表者への改善点・良かった点の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・棒読みの感じがするので落語の時のようにもっと表情を大切に</li> <li>・仕事の魅力がよく伝わってきた。</li> <li>・抑揚があつて良かったので自分も真似てやってみたい。</li> </ul> </div> | <p>★情報収集・判断ルーブリック（発表・ワークシート）</p> <p>S みんなのプレゼンの改善点を見つけることができた。</p> <p>A 自分のプレゼンの改善点を見つけることができた。</p> <p>B 誰かのプレゼンの改善点を見つけることができた。</p> <p>C プレゼンの改善点を見つけることができなかった。</p> |
| 4 ワークシートに今回の振り返りを書く。   | ◆発見した自分自身のプレゼンの改善のポイントをまとめ、発表する。   |   |
| 5 スペシャルアドバイザーとして招いた小学校の先生（恩師）からの講評を聞く。   |  |   |
| 6 予習課題を確認する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンについて仲間からもらった、あるいは自分で発見した改善点を整理し、次回の授業で訂正できるように準備をする。</li> </ul>  |   |

平成29年度 運命の本（職業編） 書籍一覧

|    | タイトル                     | 著者名    | 出版社       |
|----|--------------------------|--------|-----------|
| 1  | ダチョウの卵で人類を救う             | 塚本康浩   |           |
| 2  | 新幹線, 国道1号を走る             | 梅原淳他   | 交通新聞社     |
| 3  | 用具係 入来祐作                 | 入来 祐作  | 講談社       |
| 4  | 宇宙へ出張してきます               | 古川 聡   | 毎日新聞科学環境部 |
| 5  | コンビニもない町の義肢メーカーに届く感謝の手紙  | 中村 俊郎  | 日本文芸社     |
| 6  | 田舎のパン屋が見つけた「腐る経済」        | 渡邊 格   | 講談社       |
| 7  | USJのゾエッコーターはなぜ後ろ向きに走ったのか | 森岡 毅   | KADOKAWA  |
| 8  | キンピール高知支店の奇跡             | 田村 潤   | 講談社+α新書   |
| 9  | 奇跡のリンゴ                   | 石川 拓治  | 幻冬舎       |
| 10 | スーパーパティシエ物語              | 輔老心    | 岩崎書店      |
| 11 | 清掃はやさしさ                  | 新津 春子  | ポプラ社      |
| 12 | ホスピタルクラウン                | 大棟 耕介  | サンクチュアリ出版 |
| 13 | 伝えることから始めよう              | 高田 明   |           |
| 14 | 新幹線ガール                   | 徳淵真理子  |           |
| 15 | ホームレス農園                  | 小島希世子  | 河出書房新社    |
| 16 | 災害救助犬がんばる                | 船越 健之輔 | ポプラ社      |
| 17 | ローマ法王に米を食べさせた男           | 高野 誠鮮  | 講談社+α新書   |